

令和3年度 学校運営方針

- 日時：令和4年3月11日 15：00～15：50
- 方法：web会議及び評価表に基づく評価
- 学校関係者評価委員
 - A【高等学校関係者】高知県立高知西高等学校 校長 廣瀬 法民 (出席)
 - B【地元企業関係者】公益社団法人高知県看護協会 会長 藤原 房子 (出席)
 - C【看護管理者】医療法人須藤会土佐病院 看護部長 谷 聡子 (出席)
 - D【教育に関する有識者】高知県立高知江の口特別支援学校国立高知病院分校 教頭 細木 秀紀 (出席)
 - E【卒業生】NHO高知病院 看護師長 森本 純子 (出席)
- 独立行政法人国立病院機構 高知病院附属看護学校 出席者

	学校長	先山 正二
	事務長	渡邊 和幸
	教育主事	東谷 みゆき
	実習調整教員	山本 美由紀
	教員	谷内 典子
- 評価基準：4段階評価及び総評自由記載
- 評価対象：令和3年度 学校運営方針の取り組み実施状況
- 事前送付資料：
 - 1) 学校関係者評価委員会規程
 - 2) 令和3年度 学校運営方針 自己評価書
 - 3) 令和3年度 学校運営方針 評価表
 - 4) 参考資料 学校案内 (2021年版)
- 評価結果

【評価基準】

4：大いに達成できている 3：達成できている 2：あまり達成できていない 1：全く達成できていない

	自己評価	他者評価
1 質の高い教育実践のために、教員の教育実践能力の向上と効果的カリキュラム運用を図る。		
1) 教材研究、授業案の充実性に重点を置いた研究授業（3回/年）の実践	3	3
2) 研究計画書及び研究成果（3題/年）の共有と教育実践への活用	3	4
3) 演習科目のパフォーマンス課題、演習用ルーブリック、演習展開の再検討	3	3
4) 教材化研修に向け、実習指導場面の教材化過程の吟味	3	3
5) 自己のキャリアアップのためのTNADの活用	2	3
<p>総評</p> <p>お忙しい中、授業改善に向けた取り組みは大変だと思うが、今後ともよろしくお願ひしたい。研究発表等を行い積極的な改善に向けて取り組んでいる。ルーブリックの評価基準の内容を確認したかった。</p> <p>教員の研究授業を実施し、指導案の検討や実施後の振り返り評価を行うなど、教員の教育実践能力の向上に取り組んでいる。コロナ禍で保護者に家庭学習の支援をしてもらうために保護者参観を実施し、外部にも授業を公開し評価を受けるなど工夫されている。研究にも取り組まれ、研究成果を教育実践に活用し、学生が自身のキャリアを考え学ぶ動機づけに繋がっている。臨床指導者会議を定期開催しており、臨床と学校が連携し臨地実習を展開することで学生の学びの支援となっている。</p> <p>研究成果の共有と看護実践への活用については、キャリア教育としてシンポジウムを企画・実施するとともに、臨地実習において学生の変化を推進する要因を明らかにしており、今後の実習指導に活用できると考えられる。</p>		
2 職員の学校経営に対する意識を高め、円滑で安定した学校運営を図る。		
1) 超過勤務時間20%削減を目指し、ICTを活用した管理のシステム化の検討	3	4
2) ペーパーレスへの移行の推進	2	3
3) 古い本の廃棄、新刊図書充実と有効活用の推進	3	3
4) 物品管理カードの有効活用と物品管理体制の整備	2	2
5) 防災訓練・防災教育体制の可視化	3	3
<p>総評</p> <p>超過勤務時間の削減については、大変苦勞をされていると思います。ICTの有効活用や教員の意識改革に力を尽くされていることがよくわかりました。会議資料は印刷せず、タブレット持ち込みによる実施により、時間削減につながっています。</p> <p>超過勤務削減に向けて早出、遅出、学年を超えた業務調整、時間割の工夫など様々な取り組みにより、大幅な超過勤務の削減に繋がっている。講義資料は、見やすさなど教育効果を考慮する必要がある、ペーパーレス化が難しい面もある。現在の取り組みを継続していくことが必要である。物品管理体制について色分けなど工夫されている。引き続き、学生に対し物品管理、片付けについて指導を継続していく。学生が主体的に物品管理ができるよう働きかけていくことが重要である。</p> <p>超過勤務を削減する効果的な取り組みを積極的に行い、報告時点で20%削減は達成できている。超過勤務の削減、ペーパーレス化、図書の整理、物品管理及び防災訓練の実施などの取り組みはそれぞれ成果が見られており、全体的には円滑で安定した学校運営が達成できている。</p> <p>超過勤務の削減率が大きい</p>		

3 国立病院機構及び地域社会に貢献できる人材の育成と人材の活用を行う		自己評価	他者評価
	1) ICTを活用した学校PR、募集活動による学生確保	3	3
	2) ホームページの即時更新、魅力ある情報発信の工夫	3	3
	3) 母院への就職率：35%、機構への就職率：70%、県内就職率：65%以上	2	3
	4) 国家試験対策の強化、合格水準の向上（国家試験合格率100%）	3	4
	5) 教員各自の専門性を活かした国立病院機構及び地域社会への貢献	3	3
総評	<p>オープンスクールなどオンラインの活用により実施していただき感謝している。コロナ禍の状況では、就職は厳しかったと思いが、引き続きご指導いただいております。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>学校PR・募集活動は、コロナ禍で開催方法を変更したり、中止したものもあるが、可能な方法で活動出来ている。母体病院や高知県内への就職率は目標に達していないが、県内の採用者数の減少が影響し、他校でも県内の就職ができず、やむを得ず県外に就職をした事例もある。引き続き、実習等を通して高知県の魅力を伝え、高知県内で就職を希望する学生を増やすことが重要である。国家試験対策は、1年次から計画的に取り組みされており、3年次には教員が小グループの学生を担当するなど丁寧な指導が出来ており、ほぼ100%の合格率を維持できている。</p> <p>COVID-19の感染対策を行いながらイベントへのオンライン参加や高校訪問、オープンスクールの開催など積極的に行ったことは、十分評価できる。国家試験合格率は100%を維持できている。</p> <p>国家試験合格率100%を維持できている。</p>		
4 学生の主体性を尊重し、自律した学生を育てる。		自己評価	他者評価
	1) 共学（学生同士で教え合い学び合う）を目指し、学生間交流の推進と学生QC活動の支援	3	3
	2) 看護学生としての自覚を持った情報管理ができるよう情報モラル教育の推進	3	3
	3) COVID-19対応ガイドラインを作成し、学生の主体的な健康管理行動の支援	2	3
	4) 学生との対話を大切にされた教育的なヒューマンケアリングの実践	3	3
総評	<p>学生の積極的な交流は、コロナ禍では困難だったと思うが、他者との交流を通して協働して物事に取り組む態度の育成を今後もお願いしたい。情報倫理についてはしっかりと身につけるよう情報モラル教育の徹底をお願いします。</p> <p>コロナ禍、学生が集合した活動が制限される中、オンラインを使った各学年の交流など工夫されている。また、コロナによる学生生活の不安やストレスに教員が丁寧に対応している。COVID-19により、学内や臨地実習で学んだ感染対策は、今後の看護職と臨床に出た場合、大いに役立つと考える。</p> <p>学生間交流の推進、QC活動の支援、情報モラル教育の推進等、COVID-19の感染対応を行いながら実施できていることや、COVID-19対応ガイドラインに基づいて学生の主体的な健康管理を支援するなど全般的に目標を達成している。</p> <p>コロナ禍の限られた中で工夫しながら実施できている。</p>		
5 第5次カリキュラム改正の申請を行う		自己評価	他者評価
	1) カリキュラム改正主旨に基づき、本校の特徴を生かした教育課程の編成	3	4
	2) 変更承認申請手続きスケジュールに沿った申請準備	3	3
	3) 令和4年度からの運用に向けた実質的な準備への取り組み	2	3
総評	<p>主体的な学びを重視したカリキュラム編成を目指していることがよく分かった。特に臨床分野では今後さらに重視する必要があるように思う。また実習に力を入れた教育活動の取り組みは評価できる。今後も願います。</p> <p>カリキュラム改正に向けて計画的に取り組み、申請手続きを終えている。令和4年度1年次の教育計画は整っている。2年次、3年次の講義、実習計画の準備を課題としており、今後計画的に取り組んでいかれることを期待する。</p> <p>第5次カリキュラム改正の作業、申請が計画的に出来ている。次年度からの運用に向けた準備に取り組みされており、時代のニーズに応じた質の高い看護教育が実践されることを期待している。</p>		